

奥出雲町行政改革審議会は昨年3月に設置され、町長から諮問された行政課題に対して審議をしていただきました。

1月28日に「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進」と「第三セクター等の経営健全化」の2項目について答申をいただきました。

公共施設については、総量の抑制と住民参加と協働による施設管理、引き続き管理運営していく施設の優先順位付けを基本方針とし、「利用計画のない施設については、積極的に情報提供し、公募による譲渡、売却を検討すること」や、「役場庁舎の統合と利活用について早急に検討を進め、2021年度末までに方向性を住民に示すこと」などの提言がありました。

また、第三セクターについては、株式会社奥出

雲振興を中心に審議いただき、観光・交流人口を維持・確保する観点から、施設の存続に向けて、「経営体制の再構築」「中長期的な経営計画の策定」「従業員の施設運営への参画」などの答申をいただきました。町内経済への波及効果や雇用の場を確保する観点からも当面は、第三セクターによる運営を認めつつも、早期に役職員を民間登用する必要性や、民間企業による施設運営を検討することなどの意見が添えられました。



▲答申の提出

奥出雲町タウンミーティング「町政に反映できること」

昨年11月18日役場仁多庁舎において、まちづくりについて考え、ご意見を伺う場として奥出雲町タウンミーティングを開催しました。

当日は、町内から各世代、各団体などを代表して約50人が集まり、町の課題の中から3つのテーマ「奥出雲らしい子育て」「木次線のある暮らし」「自宅で長く住み続けること」についてグループで意見交換し、「私ならどんなことができるか」について提案してもらいました。参加者からは合計33の提案をいただき、この中から、来年度実施できるものから取り組んでいくことになりました。

また、タウンミーティングにご参加いただいた方からは、町の現状がわかったという感想が多く、参加して良かった、会の時間が短かった、回数を増やしてほしいなどのご意見をいただきましたので、来年度のタウンミーティングの拡充を考えています。

○テーマ1「奥出雲らしい子育て」

提案	町政に反映できること
1 奥出雲でしかできないキャンプ、たたら学習の手伝いをする事ができる。	キャンプ、たたら学習等を実施する際には、地域の皆様にご参加いただけるようにします。その他の行事においても学校と協議の上、地域の皆様に呼びかけをいたしますので、ご協力をお願いします。
2 イベント等を行う際に託児スペースを設けること。	町主催の会議において、規模や対象者の構成を考慮し、子育て世代の参加に配慮した環境整備として、託児スペースの確保に努めます。来年度の奥出雲町タウンミーティングでは、参加者の要望をお聞きしながら託児スペースの設置を行います。

○テーマ2「木次線のある暮らし」

提案	町政に反映できること
1 観光客を増やして木次線を守る。	奥出雲見どころ満載ツアー&トロッコ列車と題してイベントを企画し実施します。女子旅ツアー等の既存事業を継続していくほか、100km遠足やさくらおろち湖まつり等の町内行事とも連携し、一層の魅力化と集客を図ってまいります。今後も奥出雲町観光協会ホームページにおいて観光情報を発信してまいります。
2 ・木次線沿線環境を整備するため奥出雲町民集って行動を起こす。 ・年に数回地区ごとに環境整備dayを設定し行動を起こす	環境整備等を実施される場合は、限定されますが木次線利活用の補助金等の支援ができます。木次線利活用促進協議会ホームページにおいて利用促進に向けた情報発信しております。また、ご提案を踏まえ、環境美化・乗車利用の促進・情報投稿サイトの開設の支援に努めます。

○テーマ3「自宅で長く健康で住み続けること」

提案	町政に反映できること
1 高齢者の方の送迎等をお手伝いする	小さな拠点づくりなど地区としての取組みに限定されますが、地域輸送活動には、補助金等の支援を検討します。現在、町内各地で進んでおります小さな拠点づくりの中でも、地域間輸送に関心を持たれる地区がたくさんあります。今後、積極的な支援をしてまいります。
2 農機具バザー、栽培アドバイザー、農地や農機具資材など共用・貸出バンクなどの制度が必要	・農機具バザーについて 関係機関に働きかけ、中古車市等についてケーブルテレビ等での情報提供に努めます。 ・栽培アドバイザーについて 営農指導は、島根県、JAと連携し、ご相談に応じて対応します。また、主要作物の栽培講習会についてもJAと連携し、ケーブルテレビ等での情報提供に努めます。

「あなたの夢はなんですか？」
横田高校演劇・放送部特別講演
雨はワタシの背中を押す

昨年11月に鳥取市で開催された第56回中国地区高等学校演劇発表会において、最優秀賞及び文部科学大臣賞を受賞した横田高校演劇・放送部が、2月28日、横田コミュニティセンターで特別公演を行いました。上演したのは、中国大会で最優秀賞に選ばれた「雨はワタシの背中を押す」。周囲の意見に合わせてきた主人公のなすが、豪雨災害をきっかけに自分の夢を見つけ成長する物語です。

舞台上で繰り広げられる熱の入った演技、そして照明と音響が舞台を表情豊かにさせ、1時間の公演を観客150人が静かに見入っていました。

横田高校演劇・放送部は今年7月に佐賀県鳥栖市で開催される第43回全国高等学校総合文化祭演劇部門に出場が決定しています。堀江花部長は「初めて地元公演を行うことができ嬉しかった。今までの頑張ってきたことを町民の皆さんに届けられてよかった」と話し、「全国大会では今までできなかったことを全て出せるよう楽しみながら臨みたい」と意気込んでいました。



▲横田高校演劇・放送部の皆さん

亀嵩温泉「玉峰山荘」がリニューアルオープン!!



▲盛況を祈念しテープカット

施設設備の改修工事のため、2月12日から28日まで休館していた亀嵩温泉玉峰山荘(亀嵩総合交流促進施設)が、3月1日にリニューアルオープンを迎えました。

平成13年4月のオープンから18年が経過し、設備の老朽化に対応するため、ろ過器の更新、大浴場・家族風呂・砂風呂の天井改修など、総事業費約1億8000万円の改修工事を行い、快適に過ごせる空間となりました。皆様のご来場をお待ちしています。

島根県国民健康保険団体連合会 永年勤続功労者表彰

徳江良弘さん(八川)が受賞

徳江さんは、奥出雲町国民健康保険運営協議会委員として平成23年から29年まで副会長を、同年から現在まで会長を務められ、7年以上の多年にわたり、国民健康保険事業の運営にご尽力されてきました。

この功績により、永年勤続功労者表彰を受けられました。受賞おめでとうございます。



▲受賞された徳江さん

平成30年度奥出雲町良質米品評会



▲受賞された生産者の皆さん

2月28日、平成30年度奥出雲町良質米品評会の表彰式が役場仁多庁舎で行われ、次の方々が各部門で受賞されました。おめでとうございます。

うるち米の部 (出品数99点)

- 最優秀賞 藤原健治さん (亀嵩)
- 優秀賞 糸原詩郎さん (八川)
- 優良賞 宮崎真行さん (三成)
- 大塚真人さん (八川)
- 大坂 茂さん (三沢)

もち米の部 (出品数8点)

- 最優秀賞 山根俊弘さん (亀嵩)
- 優秀賞 石原吉徳さん (八川)
- 優良賞 土居博男さん (横田)
- 糸原裕朋さん (馬木)

酒米の部 (出品数5点)

- 最優秀賞 石原吉徳さん (八川)
- 優秀賞 荒川俊晴さん (鳥上)
- (農)おくゆだに (阿井)

仁多米ブランド特別賞 (荷受戸数487戸)

- 最優秀賞 (農)かわにし (八川)
- 優秀賞 吉川忠良さん (馬木)
- 優良賞 藤原 賢さん (高尾)